

哈爾阿滿
山の要險

土橋の險

城内の景
況地形と氣
候

期と雖も皆徒涉し得べし。獨り哈爾阿滿山の狹谷は、兩側絶壁開都河の急流之を貫流し道路は纔に其の右岸に沿ふて設けらるゝが故に、路外寸歩を跋渉攀登すべからず。往時は谷の兩口に土城を築き、此要險を扼守したりと云ふ。又布古爾の西約二里餘の處に、本道を横斷する沼澤地あり幅平均千米突、兩岸より長堤を築き其中央に小橋を架す。他に經過の路なければ、勢ひ該橋に由らざるべからず、世人呼んで布古爾の咽喉と曰ふ。漢時の所謂土橋の險即ち是なり。

四、庫車

庫車クチャは東經八十二度五十七分、北緯四十一度三十七分に位置し、城は鞏平コンピンと名づく、柳條を以て築成すと云ふ。高阜基を成し、周圍約二十三、四町高壁重圍、最も堅固と稱せらる。城内には庫車直隸州、遊擊營電信局等あり。城の内外人家合せて約一萬、商業繁華の一都會とす。予の當地に入るや、官憲の待遇甚だ勉め、殊に此地在住印度商の取締人某の途中に來り迎へたるを多とす。

地形は渭干河其の西南部を貫流し河岸一帶、土地肥沃、耕作に適す。北部は天山の支脈盤結し、亂嶂重疊、最も鑛物に富み、銅、硝石、硫黃、礪砂の類多しと。氣候は略々